

環境報告書 2008



目次



02 会社概要

03 トップメッセージ

04 品質・環境方針

05 環境活動のあゆみ

2007 年度環境目的・目標とその結果

06 2007 年度環境パフォーマンス①

07 2007 年度環境パフォーマンス②

08 法規制等への対応

09 環境コミュニケーション



会社概要

会社名	花村産業株式会社
本社所在地	長野県松本市市場 5-26 TEL 0263-27-1850 FAX 0263-29-4740
URL	http://www.hanamurasangyo.co.jp
創業	1909 年（明治 42 年）8 月
創立	1947 年（昭和 22 年）7 月
資本金	1 億 4,700 万円
代表者	代表取締役社長 花村泰年
事業及び製品	金属製品の加工・販売、建設業、金属原料の加工・販売・輸送、産業廃棄物収集運搬・処分業、アルミニウム二次合金地金の製造・販売
事業所	松本、長野、東京、千葉、名古屋
営業所	栃木
駐在員事務所	フィリピン、ベトナム
関連会社	金子軽金属㈱、花村香港有限公司、花村工貿有限公司

2008 年度報告書について

本報告書が当社にとって初めての環境報告書となります。当社の環境問題に対する取組みの一端を、少しでも多くの皆様に知っていただける一助となれば幸いです。

■発行

2008 年 8 月（次回 2009 年 8 月発行予定）

■対象期間

2007 年 6 月 1 日～2008 年 5 月 31 日

（一部過去の活動と 2008 年度の活動、将来の計画を含む）

■データの集計範囲

花村産業㈱国内全拠点

■参考としたガイドライン

環境報告書ガイドライン 2007 年版（環境省）

◇表紙写真

社有林より安曇野を望む（2007.9 月 社員撮影）



当社は地球環境への意識の高まりを受けるなかで ISO14001 の活動を開始、2002 年に初回登録から本年で 7 年目を迎えました。当社の環境方針は、企業の発展は地域の発展なくしてはあり得ず、企業活動である金属の流通・加工・製造を通じて社会の進歩発展に貢献すること、そして 21 世紀の重要課題である地球環境の保全に向けた循環型経済社会の構築へ積極的に貢献していくことを主眼としております。

世界を取り巻く環境は、やがて訪れる石油資源枯渇への対応を中心とするエネルギー問題を筆頭に、途上国においては飲料水や食料危機、さらには新興国の急激な需要拡大にともなう資源の高騰に至るまで、今まさに限りある「資源」をいかに有効活用すべきかを真剣に考えていく段階にあります。特に、当社の存在基盤である金属の世界的な高騰に対しては、持続可能な発展のために、金属リサイクルの役割が一層増していくことは必然といえます。

長野県を発祥の地として事業を開始した当社は、2009 年で創業 100 周年を迎えようとしております。この間、県内はもとより首都圏、中部圏に拠点を広げ、それぞれの地域のお客様に支えられ、現在では関西、東北地方にまで事業活動を拡大しております。一方、海外へ進出した日系企業にも対応すべく、2003 年のフィリピン駐在員事務所開設を皮切りに、中国、香港、そしてベトナムへも拠点を設け、お客様への迅速かつきめ細かな対応を心掛けております。

事業内容は、金属リサイクルから金属製品の流通や加工、そしてアルミニウム二次合金地金製造へと広範囲に及んでおり、それにとともなう環境負荷は、環境マネジメントシステムにおいて認識され、法規制への順法対応をベースに、毎年環境目的・目標を定めることでコントロールしております。

この度、当社は環境報告書を発行するはこびとなりました。ステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社の環境活動の現状をお伝えすることで、当社の歩んできた一世紀を再認識し、来るべき次世紀に向けて引き続き真摯に事業活動に取り組んでまいりたいと思っております。

2008 年 8 月

花村産業株式会社

取締役社長

花村泰年

2008年6月1日に、それまで別々に制定されていた「品質方針」と「環境方針」をひとつにし、新たに「品質・環境方針」として制定しました。

品質・環境方針

花村産業株式会社の繁栄は、地域の発展なくしてはあり得ない。そこで、わが社は常に企業活動である金属の流通・加工・製造を通じて社会の進歩発展に貢献し、21世紀の重要課題である品質の向上と地球環境の保全に向けた循環型経済社会へ、積極的に貢献していくことを考え方の基本とする。

社長は「社訓・企業理念・企業倫理・行動指針」及び「フラワービジョン」の趣旨に沿って掲げる「方針・目標」を達成するために、マネジメントシステムを継続的に改善することを約束する。

1. 常にお取引先及び地域社会の立場で、品質・環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。
2. 全階層が和衷協力し、お取引先及び地域社会のニーズと期待を満たす品質・環境マネジメントシステムを確立する。
3. 継続的な品質改善及び環境汚染予防を実施するため、品質・環境マネジメントシステムに基づく活動を行う。
4. 品質変更及び環境変化について、方針に沿った目的・目標を設定し、不良品や環境負荷低減に努める。
5. 事業活動に関する品質・環境法規制及びその他の同意する要求事項を順守する。
6. 品質・環境への教育及び広報活動を通じて、社員の品質・環境保全に関する意識の高揚を図る。
7. この品質・環境方針は全構成員に周知し、社外へも公表する。
8. 次の事項を品質目標として取り組む。
 - ① 全員で改善提案活動をする
 - ② 問題の本質を見つけ出す
 - ③ 経営資源を洗い直し設備を完全稼働させる
 - ④ 設備停止による損失を把握する
 - ⑤ 全お取引先へ訪問する
 - ⑥ 付加価値を生むお取引先要求を把握する
9. 次の事項を環境保全活動の重点課題として取り組む。
 - ① 環境保全活動へ参画する
 - ② 省資源化に取り組む
 - ③ 有害化学物質に対する環境リスクマネジメントを実施する
 - ④ 環境コミュニケーションを推進する
 - ⑤ 排水・排気などの排出物及び廃棄物を管理する

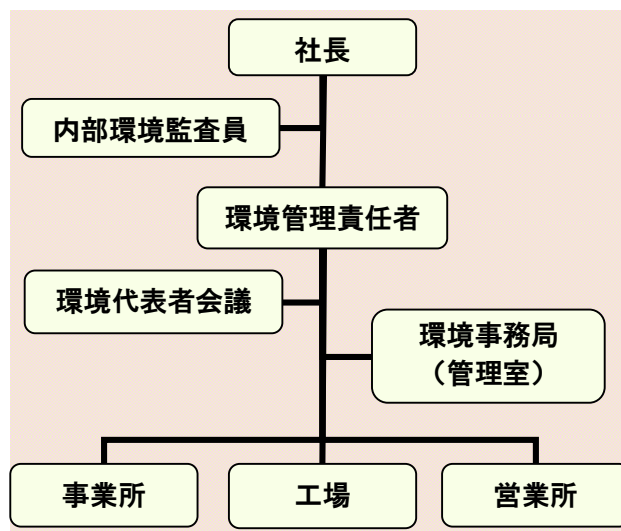
2008年6月1日制定
花村産業株式会社
代表取締役社長 花村泰年

1977年	アルミ鑄造時におけるばいじん、粉じん対策として集塵装置設置 長野県産業廃棄物収集運搬業許可取得
1997年	長野県産業廃棄物処分業許可取得
2001年	ISO14001 認証取得活動キックオフ宣言 ISO14001 認証取得に向け、環境方針を制定、全社 5S 活動開始 一般廃棄物許可取得 産業廃棄物収集運搬、積替保管申請 大田市一般廃棄物収集運搬(家電 4 品目限定)許可取得 信州環境フェア 2001 へ出典
2002年	4サイトで ISO14001 認証取得 認証機関:財団法人電気安全環境研究所 JET 認証番号:E02-270 第一種フロン類回収業者登録証取得 富山県県外産業廃棄物搬入承認を取得 家電リサイクル法施行に伴い、A グループ製品の指定収集場所に認定(庄内事業所)
2003年	ISO14001 認証全社取得 キルン集塵機のダイオキシン測定結果を公表(アルミニウム工場)
2005年	長野県一般廃棄物処理施設設備許可を取得
2006年	省エネ法にもとづき、第二種エネルギー管理指定工場に認定(アルミニウム工場)
2007年	集塵機、ロータリーキルン新設(アルミニウム工場) リニューアルに向け、地域説明会開催(庄内事業所)
2008年	庄内事業所リニューアルに対し、逢初町会から同意書を頂く 廃金属の中国向輸出登録証取得(AQSIQ) ISO 外部審査を品質環境統合審査にて実施

環境管理体制

当社は、ISO14001 規格にもとづいて環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動を推進しています。

環境マネジメントシステムを有効に機能させるため、事業所・工場の代表者と環境管理責任者で構成する環境代表者会議を定期的に開催し、全社の統括を図る体制を作っています。

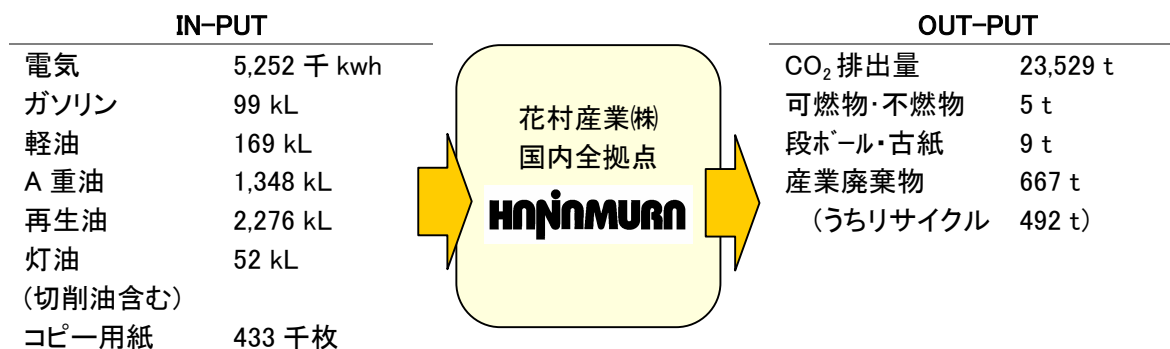


2007年度 環境目的・目標と結果

全社の目標を達成するため、事業所毎に目標を立て、計画的に環境パフォーマンスの向上を図っています。

環境目的	2007年度環境目標	実績	評価
1.省エネ・省資源化			
自社車両排出 CO ₂ を 2009 年度末までに原単位で 2005 年度比 2%削減する	2005 年度比 1%削減 728t-CO ₂ 以下	自社車排出 CO ₂ 665t-CO ₂	○
2.産業廃棄物の削減、排水、排気など排出物の管理			
産業廃棄物の最終処分率を 2010 年度末までに 35%にする	最終処分率 36.5%未満	リサイクル率 約 74% 最終処分率 26%以下	○
3.グリーンマーケットへの対応			
グリーン調達、環境配慮商品の取り扱いを拡大し、積極的な PR 活動を実施する	グリーン調達、環境配慮商品の新規開拓と各事業所における積極的 PR を実施する (販売量前期比 5%増:3,007t)	市場鉄鋼事業所、市場非鉄事業所、 長野事業所販売量合計 3,626.6t	○
4.環境保全活動への参画			
地域とのコミュニケーションを定期的に実施し、要求事項への積極的な PR 活動を実施する	地域とのコミュニケーションから要求事項の把握	・産廃ネット、HP にて情報公開実施 ・庄内事業所リニューアルに向けた地域説明会を開催 ・事業所周辺清掃の実施	○

2007年度 全社環境パフォーマンス①



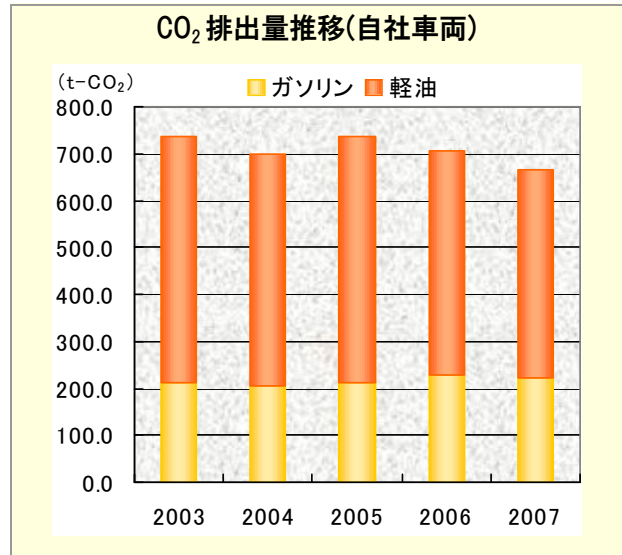
◇自社車両排出 CO₂ 推移

自社車両排出 CO₂ 量については、目的・目標として取り上げ、削減を進めてきました。

低燃費車の導入、エコドライブやアイドリングストップの実施により 2005 年度から徐々に減少しています。

2007 年度は、2005 年度比 8.7%の削減となり、目標の 1%削減を大きく上回る結果となりました。

また、月 2 回程度ノーマイカーデーを設け、通勤時の CO₂ 排出抑制にも努めています。

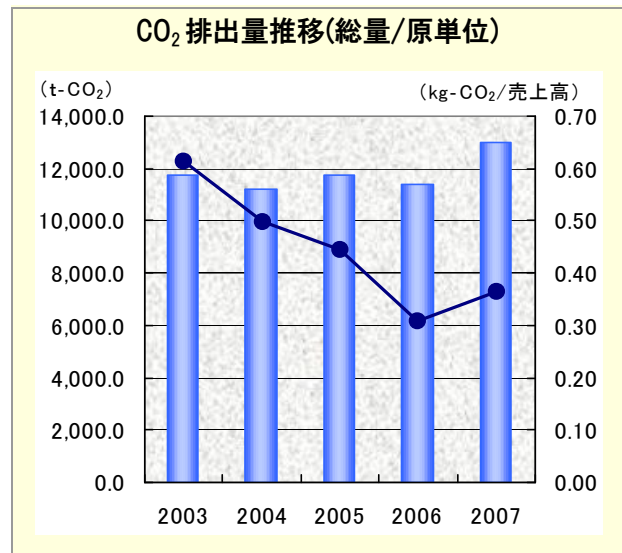


◇全社 CO₂ 排出量推移

2003 年度から 2006 年度にかけては、排出量はほぼ横ばいでしたが、販売量等の増加により、原単位(売上高に対する排出量)では順調に削減が進んでいました。

2007 年度は、上記の自社車両排出 CO₂ 量は削減できましたが、事業の拡大に伴い総量が大幅に増加してしまいました。

原単位では総量ほどの増加は見られないものの、前年度よりは悪化していますので、削減に向け今後も監視していきます。

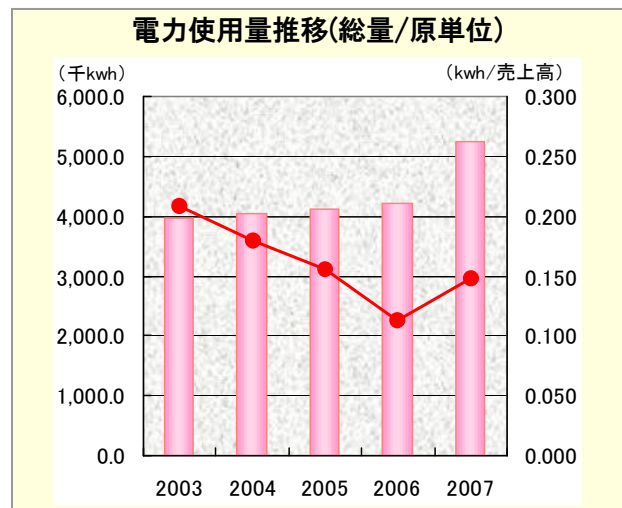


※棒グラフが総量 (t-CO₂)、折れ線グラフが原単位 (kg-CO₂/売上高) です。

◇電力使用量推移

電力使用量は、取扱量の増加とともに、2003 年から 2006 年にかけて総量では徐々に増加していました。CO₂ 排出量同様、原単位(売上高に対する電力使用量)では削減が進んでいましたが、2007 年度は設備更新を行ったため、大幅な増加となりました。

他のエネルギーも含め、削減に向けて監視を継続していきます。



※棒グラフが総量 (千kwh)、折れ線グラフが原単位 (kwh/売上高) です。

＜産業情報開示＞

産業廃棄物処分、収集運搬業者として、産廃情報ネット・当社 HP にて産業情報を公開しています。

また、2007年7月26日に産業廃棄物処分業、2008年6月13日に産業廃棄物収集運搬業について、長野県の優良性基準適合業者として認定されました。

主な許認可

種類		番号
長野県	産業廃棄物収集運搬	第 2014004757
長野県	産業廃棄物処分業	第 2024004757
長野県	破碎業	第 20204001625
松本市	一般廃棄物収集運搬業	第 0331-0039
大町市	一般廃棄物収集運搬業(家電4品目)	第 47
塩尻市	一般廃棄物収集運搬業(家電4品目)	第 2号
長野県	一般廃棄物処理施設設置(圧縮施設)	第 05-09404
長野県	一般廃棄物処理施設設置(切断施設)	第 05-09405
長野県	第一種フロン回収業者	第 2010017

＜環境配慮商品の取扱＞

環境問題や各種規制等に対応するため、2007年度に引続き2008年度においても、環境目的・目標として環境配慮商品について取り上げ、取扱量増加を目指しています。

2007年度は目標に対して120.6%の達成率となりました。

当社 HP にて環境配慮商品も含め、取扱商品の紹介も行っています。



当社 HP<<http://www.hanamurasangyo.co.jp>>

＜ダイオキシン測定結果の公開＞

アルミニウム工場では、法令に基づきダイオキシン類及びNOx、SOxを測定し、一般の方々にも公開しています。測定結果は全て法令規制値を下回っています。

設備	測定対象物	測定日	測定値
溶解炉用 集塵機 旧 TDC200CS	ダイオキシン類	2007/12/7	0.088 ng-TEQ/m ³ _N
	NOx	2008/2/27	26 vol ppm
	SOx		0.39 m ³ _N /h
	ばいじん濃度		0.0021 g/m ³ _N
溶解炉用 集塵機 新 TDC200CS	ダイオキシン類	2008/6/28	0.22 ng-TEQ/m ³ _N
	NOx	2008/1/29	24 vol ppm
	SOx		0.41 m ³ _N /h
	ばいじん濃度		0.0072 g/m ³ _N
回転炉用 集塵機 TDC100CS	ダイオキシン類	2007/11/12	0.0072 ng-TEQ/m ³ _N
	NOx	2008/2/26	28 vol ppm
	SOx		0.32 m ³ _N /h
	ばいじん濃度		0.0008 g/m ³ _N
ロータリーキルン 集塵機 (切粉焙焼炉) TDC25CS	ダイオキシン類	2007/8/28	0.016 ng-TEQ/m ³ _N
	NOx	2008/2/26	18 vol ppm
	SOx		0.91 m ³ _N /h
	ばいじん濃度		0.030 g/m ³ _N

＜法令規制値＞

ダイオキシン既存設備 5ng-TEQ/m³_N
 ダイオキシン新規設備 1ng-TEQ/m³_N
 窒素酸化物(NOx) 180vol ppm
 硫黄酸化物(Sox) 2.0 m³_N/h
 (測定条件により異なる)
 ばいじん濃度 0.10g/m³_N
 (焙焼炉)
 窒素酸化物(NOx) 230vol ppm
 硫黄酸化物(SOx) - m³_N/h
 (測定条件により異なる)
 ばいじん濃度 0.20g/m³_N

測定機関：長野県労働基準協会連合会

■庄内事業所リニューアルにあたり、地域説明会を開催

当社庄内事業所の建物は築 50 年をこえており、耐震強度について問題もあるため、社内にてリニューアルをすることを決定いたしました。

リニューアルに先立ち、2007 年 12 月に地域説明会を開催して周辺住民の皆様への説明をするとともに、ご意見をお聞きしました。

頂いたご意見をもとに計画案を修正した結果、2008 年 3 月 6 日に騒音・振動などの環境面に関するいくつかの条件の下、逢初町会より同意書をいただきました。



逢初町会との調印式

■周辺清掃の実施

環境保全活動の一環として、事業所毎に周辺地域の清掃を行なっています。

毎月 2 回程度、朝に空き缶やタバコの吸殻などのごみ拾いを実施しています。

この活動に対し、松本市卸売団地運営組合より表彰状を頂きました。

■社有林の環境整備

2004 年から毎年実施している社有林整備を 2007 年 10 月 20 日に実施しました。

今回は、社員の家族からも参加を募り、子供たちには巣箱作りを体験してもらいました。



社有林整備

■循環型社会形成推進功労者環境大臣表賞受賞

2007 年 10 月、庄内事業所にて、地球環境保全への取組みを重要課題と捉え、リサイクルの重要性を高く認識しているとして、平成 19 年度循環型社会形成促進功労者等環境大臣表彰(循環型社会形成推進功労者、3R 活動優良企業)を受賞しました。

■火災予防運動総合訓練実施

2007 年 11 月 9 日に平成 19 年度秋の火災予防運動消防総合訓練が、本社にて実施されました。

松本市広域消防局と松本市消防団の方々 100 数名と社員が合同で、通報訓練、初期消火訓練、避難訓練、救護訓練を行いました。



総合訓練

【事業所所在地】

本社	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
<リサイクルグループ>		
庄内事業所	〒390-0828	長野県松本市庄内 2-5-47
名古屋事業所	〒456-0024	愛知県名古屋市熱田区森後町 6-20
東京事業所	〒136-0071	東京都江東区亀戸 1-10-11
北関東営業所	〒329-0201	栃木県小山市栗宮 1861-3
アルミニウム工場	〒390-1131	長野県松本市今井松本道 7110-47
<製品グループ>		
市場鉄鋼事業所	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
市場非鉄事業所	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
市場加工品事業所	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
長野事業所	〒388-8004	長野県篠ノ井会字清水 18-1
千葉事業所	〒290-0066	千葉県市原市五所 1727-12
品質保証室	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
管理室	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
海外統括室	〒136-0071	東京都江東区亀戸 1-10-11
フィリピン駐在員事務所		ORIENT GOLD CREST COMPOUND UNIT4, LOT6, BLOCK7, FIRST CAVITE INDUSTRIAL ESTATE, LANGKAAN, DASMARINAS, CAVITE, PHILIPPINES
ベトナム駐在員事務所		Room 4A, Bien Bac Build., 1070 La Thanh Str., Ngoc Khanh Ward.,Ba Dinh Dist.,Hanoi, Vietnam

発	行	花村産業(株) ISO 環境事務局(管理室内)
連	絡	Tel:0263-27-1850
先		Fax:0263-29-4740